

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：鋳工業生産指数(12月)

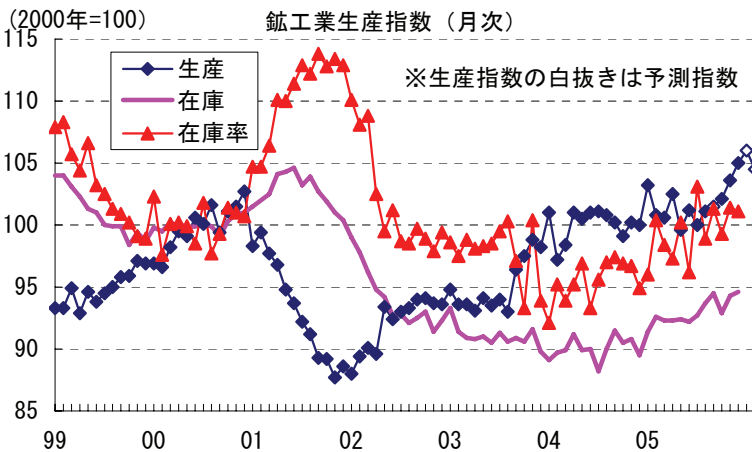
発表日：2006年1月30日(月)

～増加基調が鮮明に。1-3月期もますます～

(No. J - 216)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 新家 義貴(03-5221-4528)



	生産 前月比%	出荷 前月比%	在庫 前月比%	在庫率 前月比%
04年12月	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 1.9
05年1月	3.2	2.3	2.1	1.2
2月	▲ 2.3	▲ 2.9	1.3	4.6
3月	▲ 0.2	0.7	▲ 0.3	▲ 2.0
4月	1.9	2.7	0.0	▲ 1.1
5月	▲ 2.8	▲ 3.0	0.1	3.0
6月	1.6	2.3	▲ 0.2	▲ 4.0
7月	▲ 1.2	▲ 1.5	0.5	7.2
8月	1.1	2.2	1.1	▲ 4.1
9月	0.4	▲ 0.8	0.9	2.4
10月	0.6	1.9	▲ 1.7	▲ 2.0
11月	1.5	0.6	1.5	2.1
12月	1.4	1.1	0.3	▲ 0.3
06年1月	0.9	←予測指数		
2月	▲ 1.4	(出所：鋳工業指数、経産省)		

○ 増加基調が鮮明に

12月の鋳工業生産指数は前月比+1.4%と市場コンセンサス(+1.8%、レンジ▲0.6%～+3.0%)を小幅下回った。もっとも、下振れ幅はかなり小幅であり、予想の範囲内といっても差し支えない。10-12月期が大幅増加になり生産の回復基調が鮮明になっていることや、1-3月期の見通しも悪くないことなどから判断して、全体としてますますの内容だったといえそうだ。なお、12月は生産、出荷ともに2000年基準で過去最高、同様に2005暦年でみても既往最高を更新した。

在庫指数が前月比+0.3%と増加し、出荷在庫バランスも▲1.3%とマイナスに転じたことを懸念する意見もあったが、これは乗用車の輸出船待ち要因が大きいとみられ、特に問題はないだろう。乗用車(在庫前月比+7.2%、前年比+47.5%)を除いて計算すれば在庫は前月比▲0.3%と低下している。また、乗用車を除いた出荷在庫バランスも、9月▲2.6%、10月+0.2%、11月+1.7%、12月+1.9%と改善しており、このところ改善し、プラス圏にある。乗用車に関しては、輸出を中心に出荷は好調に推移しており、在庫が積みあがる状況にはない。12月の鋳工業での出荷在庫バランスの悪化は、こうした乗用車在庫の特殊要因によるものだ。

鋳工業生産は5ヶ月連続の増加となったが、これは1999年7月～12月以来のことだ。10-12月期でも前期比+2.7%と大幅に増加しており、7-9月期まで横ばい圏内の動きを続けていた生産が10-12月期には増加基調を鮮明にさせたことが確認できた。また、出荷指数も前期比+2.9%と堅調だ。現在公表されている指標では、外需、個人消費といったGDPの構成項目は10-12月期にかなり好調に推移している。こうしたなかで生産、出荷が高い伸びになったことは、10-12月期のGDPも高めの成長となる可能性が高いことを示す一つの材料といえる。

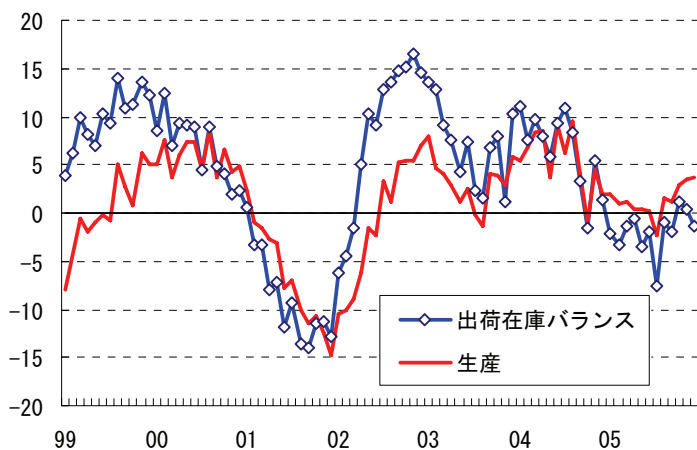
10-12月期の内訳をみると、電子部品・デバイスの寄与が+1.0ポイントと最も大きい。IT関連財の在庫調整が夏前に終了した後は、順調に回復している。1、2月の予測指数も前月比+5.6%、▲2.1%と高く、在庫循環図からみてもしばらくは回復が続く見込みである。激しい価格競争から利益面ではやや物足りない

が、生産に関しては今後もIT関連財が牽引役になる状況が続くだろう。その他の業種では、一般機械が寄与度+0.9%ポイント、輸送機械が同+0.5%ポイントと、加工業種のプラス寄与が大きい。素材業種の一部で弱い動きもみられるものの、鉱工業生産全体に与える悪影響は軽微なものにとどまっている。今のところ大きな懸念材料は見当たらず、先行きも生産は堅調に推移すると予想される。

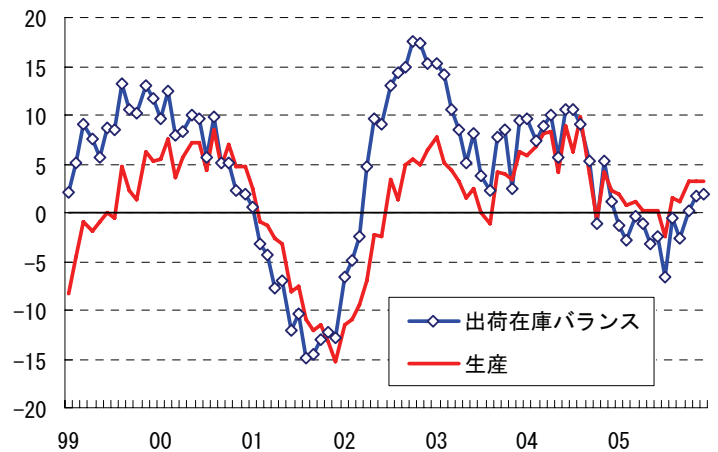
○ 1-3月期もまずまず

最大の注目だった予測指数は、1月が前月比+0.9%、2月が同▲1.4%となった。3月を前月比横ばいと仮定すれば、1-3月期は前期比+1.4%になる。ここ最近では予測指数と実績の乖離が目立つため、1-3月期が前期比でプラスになるかどうかはまだはっきりしたことは言えないが、少なくとも大きく減少することはない。10-12月期の大幅増加の後としては悪くない数字だろう。1-3月に関しては、10-12月期の大幅増加の反動から伸びをやや鈍化させつつも底堅い動き、といった景気イメージになりそうだ。今後も、加速感こそさほど感じられないものの、着実に生産が増加していく姿が予想される。

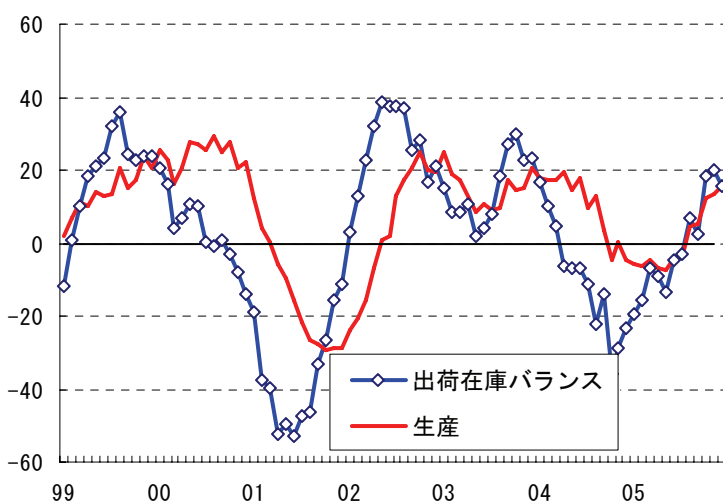
(%) 出荷在庫バランスと生産前年比 (鉱工業全体)



(%) 出荷在庫バランスと生産前年比 (除く乗用車)



(%) 出荷在庫バランスと生産前年比 (IT関連財)



(%) 出荷在庫バランスと生産前年比 (非IT関連財)

